

「総合教育会議」協議事項提案書

課 名：教育支援センター

協議事項： ICTを活用した教育環境の整備・充実（GIGAスクール整備事業について）

《現状・課題》

現行の「第2次うるま市総合計画」及び「うるま市教育大綱（平成29年4月）」においては、電子黒板等のICTの導入、校務支援ソフトの整備により、教育環境の整備・充実を図るとされている。

一方、文部科学省では、「子どもたち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育ICT環境の実現」を掲げて、GIGAスクール構想を推進しており、各学校（各学級）のネットワーク環境の整備や全ての児童生徒の「1人1台端末」等のICT環境、高速大容量の通信ネットワークの整備を前提としている。

教育におけるICTを基盤として先端技術等の効果的な活用が求められる一方で、現在の学校のICT環境の整備は遅れており、ICT環境の整備が急務とされているのは、うるま市においても例外ではない。

加えて、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、今年3月の臨時休校の影響から学習の遅れが課題となったことから、ICTの活用により全ての子どもたちの学びを保証できる環境の整備が求められており、市内全ての小中学校におけるICT環境の整備及び運用に向けた体制作りが課題となっている。

《改善案（具体的な取組内容）》

教育委員会が主体となったプロジェクトチームを設置し、ICT環境の整備（機器等の保守、技術的サポート等）及びその推進（研修の企画・実施、教材研究、組織内の連携強化等）に取り組む。

《期待できる成果・効果》

うるま市教育大綱にて掲げる「主体的に学び、自らの考えを伝えるとともに、他者の考えを理解し、多様な人々と共同して問題を解決できる子ども」を目指して、子どもたちがより主体的・積極的に学習に取り組むことが期待され、学校教育をさらに進化させることができる。